

③ インタビュー調査

- 異性交際のよい点、悪い点 ○ 性教育の学習内容
- 男女の仕事の役割分担と意識

(4) 調査結果の分析と考察

マスコミに対する認識——性情報のはんらんのなかでテレビの接触度は、視聴時間と内容に左右されやすいが、表面的指導に終始せず子どもの意識にくいこむ指導の必要を痛感する。

男女関係に対する認識——異性の交際は、交際を強くのぞむタイプと憧れとしておわるタイプと静かにして強く関心を抱くことなく送るタイプの三者の型があるが、いずれにしても異性への関心は高いので、人間としての生き方やくらし方を反省し、人間尊重の精神にたった一貫した生が教育の必要を痛感した。

この調査結果は、紀要9号に報告してあるので、御覧いただきたい。さいごに本研究は、全国教育所連盟の共同研究として全国的な規模で実施された資料もあるので参照してほしい。

第3節 教育研究に関する事業

教育センターが行う研修講座は、福島県教育委員会が計画する研修のうち、主として、学校や地域における教育活動をより推進充実させるために必要な専門的内容を深く研修するものである。

講座数および研修人員は、小学校15講座で1,032名、中学校16講座で933名、高等学校17講座で527名、合計48講座で2,492名である。

◎ 研修事業の方針

(1) 講義・協議・実験・実習・実技等をとおして、下記事項について専門的内容を深める研修を実施する。

- ① 学校経営
- ② 教育工学
- ③ 国語、社会、算数・数学、理科、音楽、図工、美術・工芸、書道、体育・保健体育、家庭、技術・家庭、英語の各教科
- ④ 情報処理
- ⑤ 数値制御
- ⑥ 教育相談

(2) 研修生は全員宿泊とする。

(3) 情報処理教育についての生徒実習を実施する。

◎ 研修事業の概要

1. 学校経営

(1) 学校経営(A)講座

① 日時・人員等

- ア. 6月19日～6月22日 9月4日～9月7日
2月5日～2月8日 年間3回の断続研修
- イ. 小・中・高校の教頭 30名

② 主な内容

- 学校経営の意義・機能・計画・組織
- 教授組織
- 学校評価
- 教育研究法と主題研究

○ 文化・経済等の一般教養

(2) 学校経営(B)講座

① 日時・人員等

- ア. 5月29日～6月1日・11月19日～11月22日
1月16日～1月19日 年間3回の断続研修
- イ. 小・中学校中堅教員 26名

② 主な内容

- 学校経営の意義・機能・計画・組織
- 学年・学級経営
- 現職教育
- 教育研究法と主題研究
- 学習理論

2. 地域指導者講座

① 日時・人員等

- ア. 6月12日～6月16日・8月7日～8月11日
10月29日～11月2日・2月19日～2月23日
年間4回の断続研修

イ. 小・中学校教科指導の中堅教員 32名

② 主な内容

- 学習指導法、授業研究法
- 教育研究法と主題研究
- 教育工学
- 生徒指導

3. 教育工学

(1) 小学校教育工学講座

① 日時・人員等

- ア. 第1班 6月5日～6月8日
第2班 11月19日～11月22日
第3班 1月16日～1月19日
- イ. 小学校中堅教員 90名

② 主な内容

- 教育工学概論
- プログラム学習とテーティングマシン
- 録音教材作成
- VTRの使用法とTV教材の作成
- OHPの使用法とTP作成
- フローチャートの作成
- アナライザーの特性とその活用法

(2) 中学校教育工学講座

① 日時・人員等

- ア. 第1班 7月3日～7月6日
第2班 10月2日～10月5日
- イ. 中学校中堅教員 60名

② 主な内容

- 教育工学概論
- プログラム学習とテーティングマシン
- 録音教材作成
- VTRの使用法とTV教材の作成
- OHPの使用法とTP作成
- 授業システム設計
- アナライザーの特性とその活用法